

広報かわにし

場町西四川
吉作 中村 川西
作 村 西
白 幸 幸 白
風 風 風
社 社 社

人口の動き	(4月1日現在)
男	7,390人
女	7,608人
計	14,998人
世帯数	2,769世帯

このたび不肖の身ではありませんが、町の教育長として勤務させていただきますことになりました。

のへの向上を目ざして、努力しなければならぬと切望して居るのであります。

「新しい町づくり」のために、あらゆる面で意欲的な活動を重ねていられる町において、教育の面でその一翼をになわせていただきますことは、まことに光栄であり、責任もまた大であることを痛感するものであります。

現在のわが国教育界の現状をながめますと、そこには幾多の解決すべき問題が存在し、まことに目まぐるしい状態ともいわれたいようであります。しかしかなるときにあつても、子どもの幸福をねがい、子どもを一步でも伸ばしてやることによつて、世の中を進歩向上させてゆきたいねがい



就任のしるし

教育長
杉本春三郎

れませんが、町当局の御熱心な教育行政はもろもろ、現場の諸先生の御努力と、みなさまの理解ある御協力の結果であらうと、常日ごろ深い敬意を払つておりました。いま教育委員会に席をおくにあたりまして、まず第一に川西町教育のよりよい点を維持して、より進展しようと思つたのであります。時代の進歩はまことに日進月歩であり、教育もまた片ときの遅滞を許されません。常によりよきも

は、変わりがないと思ひます。子どもの教育は、本来学校が第一義の任務を負うものではあります。が、家庭や地域社会の理解と協力がなければ、よりよい効果をあげることができません。みなさまが「子どもをよりよく幸福にする」という共通の基盤に立つて、町の教育全般によりいっそうの御理解と、御協力をお寄せくださるようお願いして、就任のあいさついたします。

教育長に杉本氏

町の教育長に杉本春三郎(すぎもと はるさぶろう)氏が決まつた。高橋平氏の急逝により欠員中の教育長は、前中条中学校長杉本春三郎氏に白羽の矢が向けられ、中村町長が杉本氏を教育委員として任命することに町議会からも満場一致の承認があつたので、このほど開かれた教育委員会(委員長

杉本教育長略歴

大正二二年三月 新潟師範一部卒
大正二二年四月 中条小学校訓導
昭和四年三月 新潟師範専攻科卒
昭和四年四月 十日町小学校訓導
昭和十四年四月 千手小学校教頭
昭和十五年四月 岩沢小学校校長
昭和十七年四月 福国民学校校長
昭和二十二年四月 中条小学校校長
昭和三十三年四月 中条中学校長

町づくり

▲公明選挙運動は昭和二十七年にはじまつて、ここ数年の間で全国的に推進されてきた。戦前の選挙は不正運動とちがつて上から与えられたというものはなくて、主権者であるわれわれ国民の清新な希望と、大きな期待がかけられた。清い、明るい、正しい政治を実現するための一大運動である。

▲川西町選挙管理委員会でも、選挙の重要な意義を常時に啓発するため、一昨年から「話し合い活動」を展開してきたが、この際これをさらに推進して、きたるべき選挙の公明を確保してゆかなければならないと思う。

▲現在の民主政治下では国民のひとりひとりが主権者であることを自覚して、政党やその選出議員の行動に絶えず注意し、それがわたくしたちの幸福を推進するためにどう動いているかを真剣に考えることと、選挙にあつては、政治を正しい方向に導いてゆくための投票を行つべき義務がある。

▲その責任はかかつてわれわれにあるのであり、したがつて選挙という形でわたくしたちの代表を選んだ結果が、政治という形でわたくしたちの生活にかへつてくることを忘れてはならない。

▲どんな政治がよいかをよく見きわめるためには、ふだんからの考えを力をつけて、しっかりと批判力を身につけておく必要がある。この意味で「話し合い活動」はグループや職場、青年団や婦人会でも、公明選挙を推進するための中心となつてくれるだろう。

▲わたくしたちの当面している課題の一つ一つをどんな方向にもつてゆくかを自分で考え、みんなて話し合うことによつて解決の方向を見いだすことが、自分たちの政治を考える力となり、もの見かたを養うことにもなるのである。

▲日本人はいままで、話し合うことがあまりじょうずでない国民だと考えられてきた。それは古い機構のなかで、上から与えられることに従うというモラルの残した悪い遺産であつた。いま民主主義下に主権者としての権利を与えられたわたくしは、この古い考えかたから脱却して、正しい話し合いによる政治を立ち立てなければならぬのである。

入学式



ふなも芽ぶいた春の日に、三百十四人の新入生が校門をくぐつた。胸につけた名ぶだに新しいランドセルのうれしそうな笑顔はどなたの心もはずむ子供たちに両手をひろげて、やさしく迎えてくれる先生……

ああ、学校とは何とすてきな所だろう。時のながれは早いという。小学校から中学校へとすすみ、やがて社会にとび立たんとするそのさまは、海風に帆を揚げた小舟さながらである。

今は無邪気に笑つて居るけれど、この中から町を背負つて立つ人物も出よう。

(写真)千手小学校の入学風景
撮影……押木秀治

1町議会報告 総額一億三千万円

予算議会終わる

毎年三月に行われる定例議会は一年中の予算や、予算に伴う一連の議案を審議する最も重要な議会である。ことしは三月十九日にこの第二回町議会定例会が招集されたが、当日は町税徴収条例の一部改正案一件を議決し、次いで上程された三十四年度一般会計予算について総括質疑を行った後散会した。翌二十日から二十六日まで議案整備のための休会、二十七日に再開して予算審議を続行、翌二十八日まで各種予算案十件、条例の改廃六件を含む二十七の議案と十九件の請願全部を議決して会期の幕を閉じた。

なお、前後三日の会期中に議決成立した予算のうち、三十四年度分一般及び特別会計七件を合計すると一億四千四百万円に巨額に達する。このうち繰出金等の重複する部分を除いた純計予算は一億三千八百八十六万六千円、これは川西町の住民一人当たり約八千円となる。

増徴条例を可決

三月十九日開会へ、頭上程された町税賦課徴収条例の一部改正案は、懸案の固定資産税の税率を改める条例であるが、これが本定例会の可決第一号となつた。

改正の概要は、従来百分の一・四であつた固定資産税の税率を百分の一・六に改めたもので、これによつて約七百七十万円が増徴されることになるが、ただし書きによつて国鉄分については百分の一・五を適用することとなつたのである。

一般会計八千八百万

前年より一割増

三月二十七日に議決された昭和三十四年度川西町一般会計予算は総額八千七百七十四万七千八百二十四円である。これは三十三年度当初予算と比較して一〇パーセントの増となつてゐる。その原因を費目別にみると、歳入では、町税が三十六万円減になつてゐるにもかかわらず、地方交付税が四百七十七万円のほか、ポンプその他消防施設の地元負担や保育費の保育料、失業対策事業の地元負担金等二百二十七万円の増、繰越金九十万円の増等があげられる。

三月二十七日に議決された昭和三十四年度川西町一般会計予算は総額八千七百七十四万七千八百二十四円である。これは三十三年度当初予算と比較して一〇パーセントの増となつてゐる。その原因を費目別にみると、歳入では、町税が三十六万円減になつてゐるにもかかわらず、地方交付税が四百七十七万円のほか、ポンプその他消防施設の地元負担や保育費の保育料、失業対策事業の地元負担金等二百二十七万円の増、繰越金九十万円の増等があげられる。

特別会計六件

第二回定例会で成立した三十四年度特別会計予算は次のとおりである。

- 国民健康保険 総額二千三百二十三万九千九百円、前年度に比べ三百五十七万七千七百円増である。歳入では法改正に伴う国庫補助金の増並びに一般会計からの繰入金の大増増等があるが、繰入金の大部分は橋診療所の改築費並びに千手診療所自動車購入費等に充当するため、両診療所会計へ繰り出すものである。
- 千手診療所 総額一千二百一十八万五千六百円、六十一万五千円増である。増加の原因は人件費の自然増と自動車の購入費で国保会計から百十四万円を繰り入れ収支を合わせてある。
- 橋診療所 総額一千四百四十五万二千円、約三百四十四万円の増である。橋診療所は本館の改築を行うこととなつたのでその建築費が増となつたもので財源としては国保会計から三百三十万円の繰り入れのほか、国庫補助七十万円等がある。
- 学校建築 これは仙田小学校高倉分校改築のための予算で総額六百五十万、財源としては国庫補助八十万、一般会計からの繰り入れ金二百万、起債三百七十万である。
- 新農山漁村建設 本年度は西部の仙田地区がこの事業の指定を受けているが、今回の予算は事務費十五万円を計上したのみで事業費は国の補助額決定後追加計上される。
- 産業育成資金 これは町の商工業者に対する融資のための特別会計で、財源は一般会計の繰入金三十万、県からの借入金五十万である。

三十三年度分追加更正

三十三年度分最後の追加更正予算は一般会計並びに国保、千手診療所特別会計について次のとおり議決された。一般会計の追加は二百三十万で、その累計は九千六百九十二万円となつた。追加の主な費目は、消防費七十三万、土木費四十一万、有線放送補助五十五万等、財源は地方交付税八十三万、上野小学校旧校舍売却代百四万その他である。

庁内人事

税務係の清水光子さん(上野)と、星野一枝さん(発電所通の)のふたりが三月末で退職した。清水さんは七年、星野さんは二年、公務員としての本分にもとることなくよく勤務してくれた。花咲く春にさきがけて紋場を去つたおとめたちには、それぞれのしめわさがまつているが、職場の花といわれた明るい顔が見られなくなつたことは寂しい。

花園文子一行を招く

多彩な祝賀行事

きよう十日は皇太子さま御成婚の日。すつかり春のいづれもなく桜も満開とあつて、このところ町内では多彩な祝賀行事がくりひろげられてゐる。

すでに盛大な「ちはな祭り」(四月三日、橋中学校で開催)が幕をとしたが、長者ヶ原に咲く桜と相まつて、千手地区商工会の観桜行事も次のように決まつた。

- ◎一四・五日 ダンスパーティー
- ◎一八日 名士のかくし芸大会
- ◎一六・七日 子どもの宝さがし
- ◎一六・七日 民謡大会

なお町では花園文子とレディパソンドの一行を招き、次の予定で国

おしらせとお願ひ!

前号で銃砲刀剣類の届出を勧奨しましたら、六十数件の届出がありました。なお四月末まで三月と同じく取り扱いますから、よく探してすみやかに届出てください。(川西部長派出所長)

保の被保険者を慰安することになつたが、みなさんからも多数の入場を望んでいる。

- 一、とき 四月十九日
- ・ヒルの部 午後一時より
- (上野、橋、仙田の人たち)
- ・ヨルの部 午後六時より
- (千手の人たち)
- 二、ところ 千手中学校体育館
- (屋外に変更することもある)
- 三、演芸 落語、歌謡曲、腹話術、漫談、奇術、楽団演奏など

二十三日は選挙の日

清き一票を
行使するため

四月二十三日(木曜日)は県知事、県議会議員選挙の投票日です。この選挙は同時選挙ですから、県知事と県議会議員にそれぞれ一票を投ずることになります。

県知事の投票用紙は黒インクで印刷してありますし、県議会議員の投票用紙は赤インクで印刷してあります。まちがって投票すると無効になりますから注意してください。

わたくしたちの投票によって当選した県知事と県議会議員は、わたくしたちの代表として、これが毎の受任期間は次のとおりです。

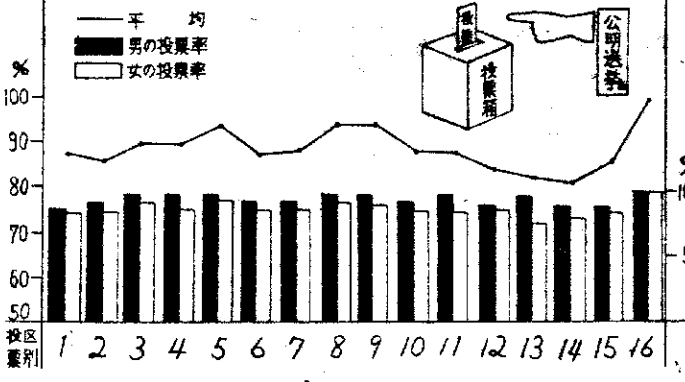
- ① 四月十一日から四月十三日まで
- ② 時間、午前八時半から午後五時まで
- ③ 場所、川西町役場ならびに各支所、
- ④ 補充名簿にのりには次の条件が必要

イ、昭和十三年十二月二十二日から十四年四月十一日まで

に生まれて、川西町に三月以上住所のある者(それ以前の者は基本名簿にのっている)

ロ、昭和三十三年六月十六日から、ことしの一月十日までに川西町に住所を移し

衆議院議員総選挙(33.5.22執行)のときの
川西町投票区投票率表



引続いて住んでいる者。ハ、今までの選挙人名簿にも落ちていない者。

④ 補充名簿の申請期間中に、今までの選挙人名簿をよく見て自分が確実にのっているかどうかを確かめてください。

⑤ 補充選挙人名簿は申請主義ですから、申請がなければ名簿にのりません。

⑥ 参議院議員の通常選挙は六月上旬の予定です。このほか選挙についての問い合わせは△電話千手十番、△有線放送三十二回線ノ一を利用してください。

(川西町選挙管理委員会)

この一票
売るなくれるな
つられるな

町の声

老いたる母の願い

日本中が大きな喜びでわきかえつていけるまよう、妻太子さまの御成婚をつつしんでお祝い申しあげるといひの老母でございます。

ことしは結婚ブームとやらで、この町でも今月は数十組の結婚があると聞いておりますし、役場でも幾人かの方がおめでたどか伺いました。生活改善が叫ばれてからもう十年にもなるようですが、千手でも数年前に一結婚の簡素化がとめつけられ、貸衣しよや公営結婚が実現してわたくしたちはたいへん喜んだものでした。

公民館だより

ことしの成人式は五月五日、午前十時から千手中学校で挙行されます。該当者は三百三十三名です。該当者も「青年の健康を守る運動」を実施して、健康手帳を交付することになっています。

庁内めぐり(6)

農林係の巻

庁舎の三階事務室を一度でもたずねたことのある人は、豆カレンダーからコケシにいたる無数のコレクションが、情緒豊かにつらつとした机上を驚きの目で見た方も知れない。この下に働く五人の職員は名を農林係といい、これから忙しい活動期に入る。

ところが最近の結婚式は決して改善どころではなく、ますます豪華になつてきたのではないかと思われてなりません。これからの若いみなさまに、一度は必ずのぐつてくる結婚式です。みんなから祝福されて喜ばれる結婚式を、しかもむだなお金をかけないでそれができる結婚式を、みんなで真剣に考えてゆかばいいと思います。

町の社会教育や公民館係の方が、参考になることやお手本になるお話しを、たくさん聞かせていただきたいと思います。これからどうやっていこうかと悩んでいる方も、ぜひ聞いてください。

わたくしはわたくしだけでなく、みんな力を合わせて協力してゆきます。わたくしのように

合併以来とりのくんできた新農村建設五年計画を推進して、町の振興を図ろうというこの係には、常に企画性が必要であり、土地改良区や農業団体とのつながりを保ちながら、それぞれの事業をすすめてゆかなければならないというむずかしさがある。

さらにまたことをたずねる人の多くが「何をやるにも補助金のカクトクが先だ」という観念を捨ててくれないかぎり、係長には心やすらぎが生まれなかつたら失言だらうか。

南雲係長は千手の産、役場きつての若い係長だけにその手腕を高く評価する人も多いが、十六才にして大陸にあこがれ、満洲で学んだ八年の農業技術が大いにプラスしているようだ。「まじめで仕事ができる」でホンのちよつと忘れ

合して、子供のおおせいある家も決して少なくはないでしょう。

(千手・貧しい老母)

新生活運動はどうした

そんなものがあつたかと、いまさら首をひねられては困る。新生活運動がとり上げられてからすでに四年、みんなのもり上がる力が必要だと口がすつばくなるほどいわれてきたのに、毎輪調査からいへど問題が出されているのに、団体やグループは別として、そのほかではいつころに実行されてゆかないのはどうしたのだらう。

忘れかけた新生活運動をもう一度思い浮かべて、みんなで明るい町をつくらせてゆきたいと思う。

(上野・一青年)

つばい……と評する人もある。星名仁作氏(上野)は三年間の現役生活をのぞくと、昭和十三年このかた農業土木の道を歩いてきたベテラン。「タイプに似合わない親切な方」とはある女子職員の弁だが、心身ともにたくましい仕事オニである。

山家五作氏は木落からバイクで通う。おちかでそのくせハニカミヤだという人もあるが、川辺の村に生まれてからきょうまでの生活はまじめのもの、それだけによいムコグチを持ちかけられることもしばしばだが、首をタテに振つたことがないという理由をたれも知る人はいない。

高橋功氏(高原田)はひたむきな努力家、いまだきつしいほどのまじめな青年で、黙々と仕事にうちむタイプには好感がもてる。

紅一点の黒馬オオさんは伊友の娘、青年学級のリーダー格として人間性の向上をおこたらない農村女性だが、観音様にあややつてか明るい性格から受けるその清潔な感じは、おとめのみりよくともいふべきであらう。

一戸籍の窓から

よろこびも
かなしみも

◎うさぎ——御すこやかに——
三月 男二件 女一七件

◎たかさこ——御田圃に——
三月 六件

◎昇天——御のい福を祈る——
三月 男五件 女四件

「新表記法への放言」④ 送りがなの混迷

丸山 精 二 郎

混乱する二つの方式

「生まれる」と書くべきなのか「生れる」とよいのか。どちらも誤りではないといつても、同じ文章の中で両方を混用したのでは統一のない、見苦しい表記となつてしまふ。送りがなの混迷、それは漢字とかを混記する表記法を改めない限り、果てしなく繰り返される問題であろうか。

現在行われている送りがな法を大別すると、「生れる」と書く公用文式と、「生まれる」と書く教科書式の二つがある。公用文式はだいたい、その語の活用語尾だけを送り、教科書式は、変化しない部分に活用形を含んでいる場合はその活用語の語尾から送る、というのがたてまえである。「生まれる」の「ま」は変化しないが、「生じ」という他動詞の場合は変化する部分であるから「ま」から送るのである。したがって、公用文式では「押える」「曲る」「浮ぶ」と書くところを教科書式では「押さえる」「曲がる」「浮かぶ」と書く。教科書式は、誤脱を避けたり、漢字の部分の読みを一定にするという特長があるが、字数が多くなるという欠点もある。しかし、中には教科書式と公用文式が全く反対の送り方をする例もある。この二つをはっきり区別して使い分けることは、実際問題として困難である。官公庁の公文書

だから、正確に公用文式の送りがなで一貫した表記をするというところは決して簡単なことではない。一步を譲つて、それほど神経質にいずれか一方に統一しなくてもよいとしても、同一の語について違った送り方を選べるといふことだけでもたいへんなことなのである。

すつきりしない統一案

そこで、これらを統一しようとして昨年十一月十八日に発表された国語審議会案はどうであろうか。基本方針の第一「活用語およびこれを含む語は、その活用語の語尾

春、四月、野山も人も新鮮な出発でございますね。毎年今ごろになると古い歌を思い出します。こぶしの花の咲くころにひとりはおよめにきました。ひとりはおよめにきました。ひとりはおよめにきました。現代の社会では女の生きる方法がいくつでもできました。とはいつてもやはり、およめにいく

ある女教師の手紙

(1)

は本格的な生きかたのようです。女であることと、教師であることを一一致せるのはひどくむずかしいのですが、自身の女教師であるわたくしが女性としてわざ道を歩いていると決めたことはありません。女の先生もとはこのことは、体力、知力も劣り、小間使いじみた働きしかできない女の、古い香がこもつていたようです。

送る」といふ原則は教科書式をさらに徹底したものであることは「起す」「終わる」「悔やむ」等の例を見てもうかがわれる。この方針で一貫しておればきわめてすつきりするのであるが、方針の第二「誤脱・難読を避ける」第三「慣用尊重」に比重を置き過ぎたため、せつかくの原則がぼやけてしまつて、われわれをおびただしい例外の中にならざるを得ない。原則どおりに書けば「行なう」「打ち切る」「申し込み」となるところを、誤脱・難読を避けるためには「行なう」「断わる」とよけいに送つたり、そのおそれがなものは逆に「押える」「悔しい」「打切る」「申込み」と送るべ

はからずもこの川西に転じたわたくしも、能力乏しいならぬ点ばかりですけれど、古い香の女の先生でなく、働き、生きたいと存じます。実を申しますと都会育ちのわたくしはへき地勤務がうれしくありませんでした。しかしまてみますと

きかなも省略する。ただし、「打ち切る」「申し込み」とあとの語をかんで書く複合語は、前の動詞の送りがなを省かない、と例外にただし書きがつく複雑さである。ただし書きがどうも疑問だが、「行なう」が難読語かどうかも疑問だが、「押さえる」「悔やしい」と原則どおりに送ることがどうしていけないのであろうか。

一見合理的に見えるこの方針も、実際には判断に迷つて、統一しないと同じ結果になりそうである。例外はできるだけ少なくすることが望ましいが、やむを得ないものは、その範囲を限定して、網羅的にはすつきりと示し、だれでもが迷

たつた一つ確かにわかるのは、教育が子どもの未来をほとんどいしあわせにするために営んでゆくとくじみな仕事であり、真に深い理知と愛にささえられる仕事だ——ということだ。みかけには子ども相手でのんきそうですが、朝のえがお一つが教室の一日にひびくことを考えても、限らない可能性を持つ教員に「わたしはまぢがった教育をしないよ」と責任を持って実践しなければならぬことか

しなればならぬことか。弱いわたくしは何度やめたくなるかわかりません。無心な子どもにとりまかれて「ああ、未来に生きる仕事なんだ」と思うとき、新しく勇気をわかしてはいるのだけれど…… (花村ゆき)

ひどりの思い出さずにはいられなかつた。ある夜下宿先にフロもらいにきた近所のおばあさんの、何気なくいつたことばがまたに忘れられないのである。「おばあさんは、わたしの三倍も長生きをしてられたわけですが今までの楽しかつた思い出がいっぱいあるでしょうねえ」「先生様、オラがよのんなだめだつてが……」「でもお嫁に来たときとか、はじめてお孫さんの顔をみたときとかうれしかつた思い出がたくさんあるんじゃないかしら」「そりゃいわれてみるとないはつかでもないよー」「その中でいちはん嬉しかつたものといつたらどんなことですか」「ソウダノ……」

新卒の〇先生が8校に赴任したのはきよねの春。子どもたちといつしよに歩んできたこの一カ年には、大学で四年間も学んだことだけでは割りきれないものがあつただけという。学校と社会がつねに密接なつながりをもつてこそ、よりよい教育効果が生まれてくることをしじみじみと悟つたのである。ことしもまた桜が咲くと、この若い女教師はまだ赴任して間もないころの、あのときのシヨツクを

〇「広報かわにし」も本冊から毎月一回、十日に発行することになりました。みなさまと役場のかげ橋として、よりよいものにするのを誓います。〇遠山のいただきに残り雪の美しく、土の香も新たな春とはなりました。下照る道にいで立つおとめ (家伴 万葉集)

かわにし俳壇

金山柏樹選
中仙田 千月
南天のもろくもこぼれ春日和
春光を枝に分ちて並ぶ木々
学校町 正風
流雪の大なるチリまといつ
流雪のゆつくりまはりつ傾き
小白倉 凡石
落椿ひろへば煙の集へ居し
元町 鉄平
雪尺余割つて苗田のあせ塗られ
中仙田 竹治
雪解水とどろき橋をパス渡る
新町 赤庸
節黒の松くるくるとおほるかな
元町 東行
春彼岸とま家の樫のかわきをり
新力ナツかいによりません。
・投句は川西町役場内金山柏樹あてに、シメキリは毎月末とします



編集後記

春の園くれないにおう桃の花
下照る道にいで立つおとめ
(家伴 万葉集)